

平成22年度 水稻関係生育調節剤試験判定結果

財団法人 日本植物調節剤研究協会

平成22年度水稻関係生育調節剤試験成績検討会は、平成22年12月6日、植調会館会議室（東京都台東区）において開催された。

本年は、健苗育成を目的としたもの1剤（適用性5点）、登熟向上を目的としたもの2剤（適用性

点）、倒伏軽減を目的としたもの1剤、ただし目的の異なる2試験（適用性7点）について試験成績の報告および検討が行われた。

薬剤または目的別の判定結果は、次表の通りである。

平成22年度 水稻関係生育調節剤試験 供試薬剤および判定・使用基準一覧

〈健苗育成〉

No.	薬剤名 有効成分及び含有量 〔委託会社〕	試験目的	試験実施場所	判定	使用基準	継続の内容
1	SF-0702 粉 (タチカレスM粉) ヒドロキシノキサゾール:4.0% メタキシノールM:0.25% 〔三井化学アグロ〕	〔適用性〕 本剤添加の過酸化カルシウム粉衣種子での湛水直播における根の生育状況および苗立ち安定の検討	北海道上川農試 新潟農総研 植調研牛久 京都丹後農試 佐賀農試	継		効果・被害の確認

〈登熟向上等〉

No.	薬剤名 有効成分及び含有量 〔委託会社〕	試験目的	試験実施場所	判定	使用基準	継続の内容
1	イプロチオラン 粒 (フシワン粒) イプロチオラン:12% 〔日本農薬〕	〔適用性〕 高温登熟下での登熟向上、品質向上（白未熟粒発生軽減等）の確認	新潟農総研 県央研究所(新潟) 植調青梅 京都農林 宮崎農試	実・継	高温登熟下での登熟向上・未熟粒の発生軽減 ・出穂10～20日前 ・4kg/10a ・湛水散布	効果の変動要因について
2	イプロチオラン 1kg粒 (フシワン1キロ粒) イプロチオラン:36% 〔日本農薬〕	〔適用性〕 登熟向上効果の検討	新潟農総研 植調研牛久 植調青梅 宮崎農試	継		効果・被害の確認

〈倒伏軽減〉

No.	薬剤名 有効成分及び含有量 〔委託会社〕	試験目的	試験実施場所	判定	使用基準	継続の内容
1	SSDF21 粒 (薬-21) ウニコゾールP:0.004% (N-P-K:21-11-10) 〔住友化学〕	〔適用性〕 直播水稻での全面施用土壌混和処理における、節間伸長抑制による倒伏軽減効果および被害の検討	植調研牛久 兵庫農技 油日(滋賀)[自主]	実・継	節間短縮による倒伏軽減（直播水稻） ・全面土壌混和 ・代かき時 ・22.5～30kg/10a （基肥として施用）	年次変動の確認
2	SSDF21 粒 (薬-21) ウニコゾールP:0.004% (N-P-K:21-11-10) 〔住友化学〕	〔適用性〕 直播水稻での側条施用における、節間伸長抑制による倒伏軽減効果および被害の検討	植調研牛久 兵庫農技 福井植防[自主] 油日(滋賀)[自主]	実	節間短縮による倒伏軽減（直播水稻） ・側条施用 ・は種時 ・22.5～30kg/10a （基肥として施用）	